

平成 30 年度第 3 回 区民版子ども・子育て会議
【災害時の乳幼児家庭の支援～あんどおりすさんをゲストに～】

日時：2018 年 11 月 2 日（金） 13:30-16:30

会場：成城ホール 4F 集会室 D

申込：23 人 / 参加：39 人

（松田）

こんにちは。災害が起きた時の乳幼児支援について、今回はあんどおりすさんをお迎えして、皆さんと考えていきたいと思います。

災害が起きた時の乳幼児家庭をどうするかについて、最初にあんどおりすさんにお話しいただき、支援者よりのことも含め、40 分お話しいただきます。

あんどおりすさん、よろしくお願いいたします。

（あんどおり）

世田谷は、支援者や市民の方がとても元気という印象。お招きありがとうございます。

普段 2 時間のところ 40 分なので、お伝えしきれるところかというところですが、一つでもひっかかる場所を見つけてください。

アウトドアなお話は今回比較的少ないですが、足りない時は書籍など参考にしてください。スライドは写真撮っても SNS 投稿もして下さっても OK です。

東京都は避難所が足りない。

自宅や職場で避難できるようにする。

車中泊していて、早産になってしまい感染症だった。

普段からケアしている人の災害時の避難まで支援が必要。

知的障害があるお母さんが避難できなかった方が犠牲になったことがある。

避難所は、阪神大震災から全く変わっていない。

基準が難民基準以下であり、見直しが必要な状況。

リスク対策.com イタリアの避難所を参考

避難所では食事もすぐ作れる。ベッドも 24 時間以内に作れる。冷暖房完備のテント、イタリアではなぜ進んだ？

1970年代から災害が続き、反省をもとに代わっていったのに、日本は我慢と根性でなんとかしてきてしまい、環境改善されなかった。もっと変わった方がよいのではという議論に。

日本の避難所で性犯罪がおこってしまった。男性も被害にあっている。女性60代以上など。実際は、派手な服装の人が襲われるというデマが回った。

被害者のせいにしない風潮づくりが大事。

例)京都市男女共同参画 大学生 同意をとるということ前提というキャンペーンをはった。小さいうちから教える。

内閣府 避難所運営ガイドライン (良い内容)

国土交通省 マンホール ガイドライン

・テントについて

北海道自身では停電がおこった。

オール電化の場合、ごはん・ミルクも作れない。

カセットコンロは準備が必要。

準備：アウトドア用バナー アルファ米

フィンランドから輸入された「液体ミルク」(1本400円。日本製なら100円程度)もある。

試し飲みと書かれているが、飲んだことがないのでわからない。

液体ミルクは薄い茶色。こがしミルクぽい。

備蓄品は、いつも使えるようになれておく。

液体ミルクは乳首をつけて、赤ちゃんに飲ませる。

使い捨て哺乳瓶(300~400円)。紙コップなら縦抱っこで飲ませる。

常温保管が可能だが、25度以下が基本であるため、夏場は冷暗所に保管する必要がある。

液体ミルクがあれば万能ではなく、ほかの備蓄や準備も必要。

母乳の場合

災害時ストレスででない場合がある。

避難所は敷居もなければ、胸をはだけて授乳することは困難。母子避難所は必要。

備蓄の際必要数は、紙コップ、ミルク、哺乳瓶 60個

赤ちゃんがミルクをたくさん飲むと、今度は母乳が止まり不都合な場合もある。

ミルクは必要な人に渡してあげるべき。当事者の声を大事にする。

普段から使える、医師会のアプリ「教えてドクター」には防災情報も入っている。

普段から連携して防災情報を発信するとよい。

災害についての認識が甘いと母子支援ができない。

大地震は長い揺れが1度ある。例：阪神 12秒～15秒。熊本 10秒。

いきなり大きな揺れがあるときもあるため、ほとんど何も準備できない。

熊本の場合、最速で2秒後に家がつぶれた。

だから、ブロック塀や耐震化、固定することは大事。

地震サポートマップで見られる情報をチェックする

- ・火は消さなくてよい
- ・窓はあけなくてよい
- ・風呂に水をためなくてよい（溺れるため）
- ・震度5以上の場合、トイレの水は流さない方がよい（東京都のガイドは古い）
- ・国土交通省 トイレの動画でPRしている
- ・トイレの正しいコントロールを教えてあげる
まっさきに封鎖して、災害用トイレに切り替える（3つくらいもっておく）

早めに逃げる 決断するのがとても難しい

- ・雨 100ミリは大災害
1時間に50ミリから冠水が始まる。避難勧告は50ミリから。

Yahoo!転記アプリ

Yahoo!河川水位情報

目の前の川を見に行って、流される人が必ずいる

避難指示で逃げたら、逃げ遅れる

膝より上に水があれば、人は流される。地下街があったりして流れが速くなると強い圧力で流される。

膝より下の長靴やぶかぶかの長靴はNG。

長くぴったりした長靴なら○。野鳥の会の長靴はオススメ。

水位や流れ、状況に応じて判断すること。

逃げるときはいずれも風向きが大事。Yahoo 転記 マピオンなどでチェックする。

タイヤの半径以上の段差は乗り越えられない

ベビーカーNG、キャスター付きトランク、車いすで逃げられない。

自転車はいける可能性あり。電動は押すととても思い。発電できる自転車も登場。

普段使っているものを防災仕様にとすると良い。

スマホ対応の充電器はもたない場合がある。
発電機を速く回しすぎて壊したケースもあり。

さらしのおんぶ

70年代から伝承が途絶えている。普段から覚えておき、支援者が教える。

さらしの場合、揺らさないで、軽く感じる。

リュックも上の方で背負うのがよい。(二宮金次郎のように)

または、チャック付きのジャンパーなどあれば、そこに入れると抱っこ紐なくても抱っこができる。

キツネの手をして抱っこすると、体幹で抱っこできるので軽く感じる。(会場でも参加者が試して体感)

サイクルハウス MIKAMI

抱っこすると反って行く子が増えている。上の方でおんぶしてしがみつくと癖をつけさせる。
しがみついてくれないと避難しにくくなる

新生児はトートバッグ（おむつを下敷き）でも逃げられる

家具の固定（ねじ止めが基本。自治体も賃貸物件のねじ止めをOKし始めている）
港区、昭島市が実施。世田谷区も続いてはどうか？

備蓄は高台に。スーパーと連携

普段の子育て支援が防災につながる
地域の人にも防災でつながってほしい
以上です。

松田) スーパー高速での講義ありがとうございました。

防災アクションや、1月山野児童館でも親御さん向けに防災イベントを行っている。

何度か聞くと学べるので、参加して、蘊蓄をためてください。

世田谷区ではどのような準備を進めているのか、世田谷区の蓑田さんからご説明いただきます。

蓑田) 10分くらいでご説明します。

町内の母子避難所を充実させると明らかにしている。

備蓄も充実させるべく準備を進めている。

性被害や虐待暴力の話もあり、無視できないと感じた。スタッフが区の職員だけでは確保できないので、地域の皆さんにご協力が必須。

世田谷区の実情

震度6強以上を想定して、火災など被害想定している。

避難所避難者15.7万人といわれている。避難所は圧倒的に足りていない。

世田谷区では1年間に7459人出生。1320人の1歳未満の避難者がいる。

平均で毎日3.6人ずつ、避難所で出産する人が出てくる。

母子避難所はどんどん新しい命も生まれるため、一回入っても、新生児に場所を譲るなど必要になり、押し出される避難者も想定できる。

母子避難所から地域に戻ってからも支援が必要となることを考えていかななくてはいけない。現在、母子避難所のルール作りを全力で行っている。

区民版のテーマとして、防災があるのはありがたい。地域連携して、子どもとお母さんを守っていく。知恵を出し合って、災害時の子育て支援のしくみ、街づくりをしていければ。

資料1枚目

(2) 福祉避難所(母子)のマップ参照

現在8カ所。必ずしも十分ではない。

避難所の利用イメージ図参照

その他支援が必要な方：一人親で多子の方(物資や炊き出しを取りに行けない)などを母子避難所で受け入れていく。助産師などが行き、ケアをする。

(3) 福祉避難所(母子)運営の概要参照

松田) ありがとうございます。

災害対策課からも区の方が来ていただいている。母子避難所は子ども・家庭課が取り組んでいます。横断して区の方も来ていただいています。

母子避難所に行きなさいと、だれが言えるのか。

・前回の区民版では何を話し合ったか共有(明石)

母子避難所を誰が決めるのか
心のケア、医療ケア
一定の基準やマニュアルが必要
誰までが入れるのか？（父親も入れる配慮）
妊婦 ひろばのスタッフが勉強
日常からつながっていないと動けない

地域では
つながりのない人へのアクションは？
商店街でできることがある
準備することをしっかりすること
妊婦がどこにいるのか分かる名簿があることが大事

地域資源で大事なものは「人」
孤立している中で、家の中での避難はつらいので、資源として行ける場のマップが必要

実家がある人は実家に戻るのも一つ
情報収集をどこからやるか 商店街からやってみては。

0～2歳の子がどこでつながれるのか。行政からリストをもらっておくべきでは？
地域によりローカルルールを作る必要がある。

子どもがいることをどう伝えるか。→玄関に旗やチラシを掲げる。

ネウボラで、田舎に戻るのかなど、事前にアンケートをとるのも一つ。

（グループワーク）

<休憩タイム>まわりのポストイットもこの時間でみてまわる 15:00-15:15

グループのテーマ決め

<グループ発表> 15:40ー

■自宅の避難について

ボランティアの関係、発災時のボランティア受け入れはどこで？

区内大学8カ所で設営。

在宅非難の備蓄について ローリングストック

ある程度の水などを備蓄し、日々使いつつ補充を。

発災シュミレーション 災害時の情報を得られるところは？知識としての蓄えも。

■避難所の運営と日常の備え

災害対策がばっちり、というのはどういう状況をいう？

母子避難所の仕組みはどういうものなのか？

地域、世代が違う場でどう情報交換ができるのか？

母子避難所について区民への周知はどうするのか？

当事者世代の意見を吸い上げてほしい。

どこで、だれが、どうしたら？ ペーパーベースの情報は読み取れない。アプリの充実を。

HPの当事者目線でない。検診や保護者会やアンケート実施など

■母子避難所に来れない家族にどのように除法提供や物資提供したらいいのか？

母子避難所に来れば、情報や物資もらえると周知することが大切。

母子手帳を渡すときにしおりを渡す。おでかけひろばのHPで知らせる。

行政の防災メールの信用度が高かった。

お母さんのケアについて。心のケアが大切。寄り添うシステムづくり

吐き出す場が必要

■おでかけひろばと災害

母子避難所の開設は3日目。普段の子育て支援が大切となると、ひろばが日常的な場。地域での親子の居場所が大切。災害時のマニュアルで決めておくとかコアメンバーいなくても、関わられる人がいる。町会は災害時の訓練もしているので、町会との関係も作っておく。

発災時にひろばと行政とどうつながれるのか？

妊婦にも母親学級で考える機会を。

■避難所の運営する人材をどう確保するか

保育のプロを普段から防災という意識で養成する。ボランティア協力をよびかける。

誰が運営するのか？支え手が地域となる⇒地域ってだれ？

母子のケアをする人は？子育て経験のあるお母さんたち、小中学校の保護者に意識をもってもらって、有事に「ケアする」環境づくりも大事

■顔をあわせてつながるのが大事。

マンションの管理組合と知識を得たり、交流する場が必要。避難所に実際に子連れは行くのか？パパもいないと行けない。ひろばに全機能はもたせられない。いろんなところがひろば機能をもてばいいのでは？情報提供とか人の配置。

コンビニ、スーパーなど身近なところにそういう機能をもってもらえるのはどうか？

<あんどうさんの講評>

スーパーとの提携している行政はたくさんある。

コンビニやスーパーの物資は使えるとか。

工場の中は地域の人の避難所としてオープンにする

北上市 酸素ボンベを運ぶ会社 空気中から水を取りだせる蛇口もある。

地域のママが防災講座の時には防災マルシェとして提携

野菜を備蓄して農家の支援にもなる

定時に帰るようになって働き方改革にも

企業との連携はぜひ進めてほしい。

マンション同士のつながりで話し合いしている。防災の取り組みの情報共有している。

小中の保護者が赤ちゃんの預かり。赤ちゃん授業 赤ちゃんを抱っこする体験⇒小中学校の子どもたちも対応できる

コアメンバーなくても対応できるのも大事。浦安市の某娯楽施設では、災害対応がすごくできた。1人1人に責任をもたせて、災害時には自分の判断で何をしてもいいとしている。

防災訓練もすごくしている。年間100日くらいしている。

当事者目線は大事。当事者の声をきかないと対応できない。

避難所に来ない人をどうするか？ 災害対策基本法では、避難所に行くとそこでご飯を食べないといけない⇒コンビニで食べることができる、バイクで宅配もOK、遠くのレストランもOKと変わってきている。法律は弾力的に変わっているが、行政が知らない。

<告知タイム>

- ・災害時母と子の?? チラシを今年改訂。
- ・ラレーチェリーグ日本のチラシ マタニティブルーの乗り越え方
- ・山野児童館でのあんどーりすさんの講座 山野区民集会所で実施 子連れOK
- ・こども劇場 乳幼児のこども文化体験 世田谷区と協働事業
- ・昭和女子大 非常食プロジェクト ローリングストックをひろめる活動
- ・12月7日 北沢タウンホールスカイホール NPO アクション せたがや防災
- ・11月23日 ぶりっじ@roka マンション防災

以上